

節網労組行事年表		国内、政治、経済年表	
1962, 10, 4,	中野節網労組繊維 労連に加盟	1960, 6, 23,	安保条約改定、岸内閣退陣 池田内閣成立
10, 10,	日本のうたごえ祭典に バス2台で参加	10, 12,	浅沼社会党委員長 右翼に刺殺
1963, 1, 14,	日本節網労組結成 繊維労連に加盟		
2, 26,	節網共闘会議結成		
5, 1,	メーデー初参加、節網 共闘で400人参加		
8, 5-7,	第9回原水爆禁止世界大会 参加(広島)	1964, 8, 10,	社会、共産、総評、など137団体、 ベトナム反戦集会開催
11, 10,	繊維労連東京都支部結成	10, 1,	東海道新幹線開業
1964, 6, 18,	関東燃糸労組、繊維労連に加盟	10, 10,	東京オリンピック開催
1965, 5, 1,	会社合併、社名を日本中野節網株 式会社とする	1965, 8, 19,	佐藤首相首相として始めて沖縄訪問
8, 22,	日本母親大会参加	11, 19,	戦後初の赤字国債発行
1966, 4, 12,	春闘で組合結成後初めて24時間 ストを決行		
10, 15,	退職金ゼロ回答		
10, 21,	ゼロ回答抗議1時間のストに入る	10, 21,	総評54単産、ベトナム反戦スト決行
10, 24,	組合分裂攻撃(第一組合、166名 第二組合、196名)		
10, 30,	分裂攻撃抗議決起集会(八王子労 政会館230名参加)	12, 27,	衆議院解散(黒い霧解散と呼ばれた) カラーテレビ、カー、クーラー新3種の神器
1967, 4, 11,	1日10円のことで10日間のスト 権利を守る闘い		
8, 8,	団交で八王子工場閉鎖提案される	1967, 4, 15,	東京都知事に社共推薦の美濃部氏 当選
9, 4,	山梨県都留市議会へ要請(ストで)		ミニスカート大流行
9, 13,	都留市農業委員会傍聴 (スト、120名参加)		もり、かけそば60円、ラーメン100円
10, 24,	分裂攻撃1周年、声明を出す	9, 1,	四日市ぜんそく訴訟
12, 29,	八王子工場第一組合員全員が豊田 工場に移動、寮に引越し	12, 11,	非核3原則を言明

篩網労組行事年表	国内、政治、経済年表
1968, 5,23, 日野市0歳保育を促進する会結成	1968, 1,19, エンタープライズ(原子力空母)入港
10,26, 乳児を同伴した者の就労妨害禁止の仮処分申請、東京地裁に	7,1, 核不拡散条約調印(日本は70年)
10,31, 会社は東京地裁の事情聴取に実力阻止しないと発言、申請取り下げ	12,10, 白バイで3億円強奪事件
11, 7, 組合事務所で実力保育	
1969, 6, 1, 社長交替「北村信男」栗田恭三へ	1969, 3,10, 佐藤首相沖繩返還で核抜き、基地本土なみで米と折衝を表明
8, 1, 新社長あいさつ ストでボイコット	
8,30, 第1回お父ちゃん会議開催	6,29, べ平連によるフォークソング集会
10,29, 既婚者会議(16名参加)	7,20, 米、アポロ11号月面着陸成功
1970, 4,18, 精皆動手当での提案で団交決裂 4,20~5,19まで59波のスト	1970, 6,23, 日米安保条約反対集会 8月から歩行者天国スタート
11,30, 保育所問題で対市交渉(ストで60名)	
1971, 3,10, 第二回お父ちゃん会議開催	1971, 8,15, 米、金・ドル交換停止(ドルショック)
4,3~10,16,までに216波の抗議スト 精皆動手当での倍増提案に	8,16, 欧州為替市場混乱回避のため閉鎖
5, 7, 「サンデー毎日」取材	
5,15, 「NHK」取材	
5,24, NHK「スタジオ102」で放映	ポーリングが人気(全国で1800ヶ所)
6, 5, 「婦人公論」取材	
8,12, 「赤旗」取材	
8,18, 「朝日新聞」取材	
9,12, 「総評新聞」取材	11,19, 沖繩返還協定強行採決反対で総評 など200万人、抗議の政治スト
10,14, 216波のストライキで親会社の 日清製粉本社に39団体140名 で抗議行動	11,24, 衆院返還協定承認、非核3原則を 付帯決議
1972, 1,17, 生休裁判、東京八王子地裁に提訴	1972, 5,15, 沖繩県発足
2,26, 第1回生休裁判	
6,26, 清水甲江、職業病認定闘争に入る	6,11, 通産相、田中角栄が日本列島改造論 を発表(地価暴騰の引き金となる)
8, 2, 清水甲江、労災と認定される	
10,22, 組合結成10周年記念集会開催	9,25, 田中首相訪中、日中共同声明に調印
1973, 4,22, 森田喜美男、革新日野市長誕生	1973, 2,10, 東京外国為替市場、ドル売り殺到閉鎖
4,22, 生休共闘会議結成(3者共闘)	2,14, 円、変動相場制へ移行、円急騰
12, 6, 年末一時金団交、妥結は個人の 同意書に調印の会社提案拒否 して都労委で斡旋(同意書は拒否)	10,25, 石油5社供給削減(石油ショック)
	10,28, 6大都市すべて革新市長に
	12, 1, 物価急上昇(前年同月比、ちり紙1.5倍)

篩網労組行事年表		国内、政治、経済年表	
1974, 2, 15,	組合実力保育を終わる、5年3ヶ月延べ43名の0歳児が巣立つ	1974, 1, 7,	田中首相、東南アジア歴訪、バンコクで反日デモ、ジャカルタで反日暴動
5, 27,	東京地裁、生休裁判判決出る労組の提訴棄却される	7, 7,	第10回参院選、与野党伯仲
5, 28,	生休裁判、東京高裁に上告	10, 00,	田中金権政治への批判広まる
6, 24,	南雲典江、労災と認定される	12, 9,	田中内閣総辞職、三木武夫内閣成立
7, 12,	「新婦人新聞」取材		
8, 22,	総評大会で争議組合で紹介される		この年戦後初のマイナス成長
10, 7,	第1回東京高裁裁判全面ストで参加		
1975, 3, 4,	生休裁判4者共闘、国会議員と懇談	1975, 4, 13,	第8回統一地方選、神奈川、大阪、東京で革新知事
11, 20,	松浦委員長アジアセミナーへ出発	10, 00,	ハウス食品のCMでワタシつくる人ボク食べる人、男女差別で放送中止
12, 23,	松浦委員長アジアセミナーより帰国		
1976, 2, 15,	アジアセミナー報告集会(陽光会館)	1976, 2, 4,	米上院でロッキード事件問題化
9, 7,	東京都労働委員会に不当労働行為救済申し立て(50項目)	7, 27,	ロッキード事件で田中前首相逮捕
10, 6,	第10回東京高裁(佐藤都支部委員長証人)		
10, 19,	東京都労働委員会	12, 17,	三木首相総選挙の敗北のため辞任
11, 19,	東京都労働委員会		
12, 22,	東京都労働委員会(野田書記長証人)	12, 24,	福田赳夫内閣成立
1977, 3, 9,	東京都労働委員会(松浦委員長証人)		
4, 13,	第12回高裁(会社側、寺倉人事部長証人)	1977, ,	野党の連合政権構想活発化
4, 17,	森田喜美男、革新市長再選		カラオケブーム
1978, 4, 28,	都労委(ストで全員傍聴する)	1978, 8, 12,	日中平和友好条約調印
5, 10,	八王子労働基準監督署に、男女賃金差別は正の申告をする	11, 27,	日米防衛協力のガイドライン決定
5, 29,	鷹取君江副委員長死亡	12, 7,	大平内閣成立
9, 13,	監督署より、男女賃金差別是正命令出る		
1979, 2, 28,	第18回高裁(結審)組合員全員で傍聴	1979, 3, 28,	米スリーマイル島原子力発電所放射能漏れ事故、原発空前事故
7, 2,	一時金(ボーナス)査定分を全員で再配分		
1980, 3, 19,	東京高裁、生休裁判判決出る労組の上告棄却される	1980, 6, 12,	大平首相急死
4, 19,	最高裁に上告	6, 22,	初の衆、参両院同日選挙自民圧勝
4, 28,	杏林大学助教授と面会(職場環境)	7, 17,	鈴木善幸内閣成立
5, 31,	最高裁に上告理由書提出		

簡帛労組行事年表		国内、政治、経済年表	
1981, 2, 7,	最高裁に要請行動	1981, 3, 16,	臨時行政調査会(土光敏夫会長)
4, 20,	森田喜美男革新市長3選される	10, 28,	ロッキード事件榎本被告、前婦人
5, 19,	国交で査定額0円なくし300円にさせる		受領を証言、蜂の一刺し発言
1982, 1, 21,	松浦委員長、日野市勤労者協議会 委員に選任される	1982, 6, 23,	東北新幹線開通
8, 27,	第3回お父ちゃん会議開催	7, 6,	中国政府、日本教科書「侵略」を 「進出」とする記述を非難
9, 14,	組合結成から20年の思い出をかたる会	11, 27,	中曽根内閣成立
10, 24,	組合結成20周年記念集会220名 の参加者で盛大に開催される		
11, 28,	日野統一労組懇準備会発足		
1983, 1, 14,	革新都政をめざす日野各界連	1983, 4, 00,	東京ディズニーランド開園
2, 17,	革新都政再建三多摩婦人決起集会		
7, 3,	日野統一労組懇決起集会	10, 12,	東京地裁、田中角栄被告に 懲役4年実刑判決
10, 21,	10, 21, 統一行動(代々木公園)		
1984, 7, 29,	健保改悪反対、トマホーク、くるな 政党法反対、実効ある雇用平等法 中央集会(代々木公園)	1984, 5, 15,	防衛費のGNP1% 枠見直し着手
		8, 21,	臨時教育審議会設置
1985, 3, 31,	春闘決起集会(代々木公園)	1985, 4, 1,	日本電信電話会社、日本たばこ産業発足
4, 21,	森田喜美男革新市長4選される	9, 22,	G5、ニューヨークで開催(プラザ合 意)ドル高、時代から円高、時代へ
7, 16,	最高裁、生休裁判判決出る、 労組の上告棄却される	10, 11,	国鉄6分割、民営化基本方針決定
7, 16,	松浦幸子さん職場復帰		
8, 月	生休裁判の終結にあたっての 支援御礼、発表		
1986, 3, 25,	国鉄分割民営化反対1万人集会	1986, 4, 1,	男女雇用機会均等法施行
11, 5,	東京都女性海外視察団参加(オーストラ リア・ニュージーランド、松浦委員長)	4, 26,	ソ連、チェルノブイリ原発事故
		7, 6,	衆参両院同日選挙、自民党圧勝
12, 13,	海外視察団報告集会	11, 28,	国鉄分割・民営化法案成立
1987, 2, 18,	売上税反対、学習会	1987, 4, 1,	東京の地価、前年比76%高騰
4, 10,	売上税・マル優廃止反対日野市民集会	10, 19,	ニューヨーク株式市場大暴落
1988, 7, 2,	革新日野市政15周年記念集会	11, 6,	竹下登内閣発足
9, 18,	消費税反対大集会(代々木公園)	1988, 4, 1,	マル優制度廃止(利子に20%課税)
11, 17,	階級的ローカルセンター確立三多摩学習会	11, 10,	自民、消費税法案、単独航強行採決
1989, 1, 29,	ゆたかな革新日野みんなの会 新春の集い(600人参加)	1989, 1, 7,	天皇死去、年号、平成と改元
		4, 1,	消費税スタート、3%課税 (増税6兆円見込み)
10, 29,	組合主催バスハイク(西沢渓谷)		

縮小労組行事年表		国内、政治、経済年表	
1990, 1, 20,	臨時大会、繊維労連脱退決議	1989, 6, 2,	宇野宗佑内閣発足
1, 28,	都支部 23 回定期大会、全労連繊維結成	7, 23,	参院選挙で野党逆転
3, 17,	定年問題シンポジウム	8, 9,	海部俊樹内閣発足
9, 16,	第 5 回横田平和まつり	11, 21,	連合発足
11, 25,	全労連繊維第 2 回定期大会	1990, 1, 13,	大学入試センター第 1 回試験実施
1991, 1, 26,	湾岸戦争反対、アメリカへの戦争協力許すな中央集会	1991, 1, 24,	政府湾岸戦争支援(1兆2千億追加支出)
		11, 5,	宮沢喜一内閣発足
7, 27,	小選挙区制反対日野市民集会	11, 27,	PKO 協力法案強行採決
10, 1,	小選挙区制反対日野市民集会	12, 30,	ソ連邦解体
11, 8,	三多摩争議支援リレー行動		
1992, 2, 14,	過労死はゴメンだ三多摩集会	1, 13,	加藤紘一官房長官従軍慰安婦問題で旧軍の関与を認め、公式に謝罪
		3, 22,	春闘決起集会(代々木公園)
7, 30,	体操教室 1 周年こくろうさん会	10, 30,	バブルのつけ表面化、都市銀行等
10, 25,	30 周年記念集会 (28 団体、122 名の参加で盛大に開催)		21 行、9 月末の不良債権 12 兆 3 千億
		8 月	JR 山手線の全駅が終日禁煙
1993, 6, 28,	村松みえ子さん都議会議員に当選	1993, 8, 9,	細川護熙、非自民、6 党連立内閣発足
7 月	議員活動のため 4 年間の休職協定	9, 17,	政府、小選挙区比例代表並立製・政党活動への助成金等、4 法案提出
7 月	組合事務所に電話設置	9, 20,	4 法案賛成の村山富一氏社会党委員長に選出される
8, 25,	定年問題対策委員会発足	11, 18,	小選挙区等、4 法案衆議院で可決
1994, 3 月	日野労連結成	1994, 3, 4,	小選挙区等、4 法案参議院で可決
5 月	定年問題に詳しい、東京法律事務所の上条貞夫弁護士の指導、助言	4, 28,	羽田孜内閣、少数与党で発足
		6, 30,	村山内閣発足(自、社、さきがけ)
1995, 1 月	日経連、新時代の日本の経営発表	1995, 3, 20,	地下鉄サリン事件
4, 11,	団交で 55 歳から賃下げしない確約	1995, 4, 9,	統一地方選挙青島幸男、横山ノック当選
8, 25,	退職金全面改訂要求提出	4, 19,	為替市場、1 ドル = 79.75 円の史上最高値
8 月	組合事務所にファックス設置	8, 15,	戦後 50 年の村山首相談話、アジア諸国に「お詫び」
1996, 5 月	賃下げなしの 60 歳定年実現	1996, 1, 11,	橋本龍太郎内閣発足
10, 15,	退職金の再要求書提出	6, 25,	(97.4.1.から消費税、5%に引き上げ)
11, ,	印刷機・コピー機購入	10, 21,	第 41 回総選挙(初の小選挙区比例並立制)
1997, 6 月	村松みえ子さん都議に再選される NBC 工業を退社	1997, 11, 17,	北海道拓殖銀行破綻
		11, 22,	山一證券が破綻
11, 22,	組合結成 35 周年記念行事	1998, 7, 12,	第 18 回参院選、自民惨敗
1998, 1, ,	全労連繊維、組合事務所を縮小労組へ	7, 30,	小淵恵三内閣発足
4 月	春闘で精皆勤手当基本給に(要求から 28 年)		

節網労組行事年表		国内、政治、経済年表	
1998, 7月	化成品部門山梨工場へ移動	1998, 4月	完全失業率、初めて4%台へ
7,14,	組合の機関紙は担当月を決め全員で作る	8月	東京23区のホームレスが急増
11,13,	会社より新人事制度、提案される		
1999, 4, 1,	新人事制度導入	1999, 1, 1,	欧州連合(EU)単一通貨ユーロ導入
4月	退職金規定、賃金規定、を協定 定年問題対策委員会、解散	4, 1,	改悪労基法、施行
10,21,	定年延長要求提出		
2000, 4,26,	会社は定年(60歳)時の退職金は 世間相場より低い、来春闘時検討	2000, 2,23,	国会で初めて党首討論を開催
8, 1,	全労連組織、佐藤委員長、入院	4, 5,	森喜朗内閣発足
10,20,	安保放棄、中央集会	5,15,	森首相日本は天皇中心の神の国、と発言
2001, 3, 6,	山梨工場へ春闘のチラシ配布(176通)	2001, 4,26,	小泉純一郎内閣発足
3,17,	全労連組織、佐藤委員長、死亡	9,11,	米、で同時多発テロ、ビルに旅客機激突
4, 6,	厚労省、からサービス残業根絶通達	9,12,	平均株価、17年ぶりに1万円割れ
5,14,	社内のサービス残業のチラシ配布	10,29,	テロ関連3法成立(2年の時限立法)
5,31,	都労委あつせん案受諾 (永年勤続者に退職金加算の特別金)	11, 9,	海上自衛隊、インド洋へ向け出航
2002, 4, 8,	クラブウ、人権裁判、本社でチラシ配布	2002, 9,17,	小泉首相、北朝鮮訪問
10,22,	雇用・くらし・いのちを守れ、中央集会	10,15,	拉致被害者5人帰国
11,30,	組合結成40周年記念行事		
2003, 2,15,	センイ連絡会総会	2003, 3,19,	米、英、軍イラク攻撃開始
3,21,	イラク攻撃反対ピースウォーク	4, 1,	日本郵政公社が発足
6,11,	労働法制改悪反対チラシ配布	7,26,	イラク復興支援特別措置法成立
7,27,	天狗の行進(圏央道建設反対19周年)		
12,23,	全繊維産業労組第1回定期大会		
2004, 2,29,	繊維産労執行委員会(滋賀)	2004, 1, 9,	陸自先遣隊と空自本体にイラク派遣命令
3, 9,	山梨工場チラシ配布	8,13,	米軍ヘリが沖縄国際大学に墜落
8,19,	クラブウ、人権裁判、本社でチラシ配布		
12,23,	繊維産労第2回定期大会(京都)		
2005 5,20,	全労連、国民大行動	2005, 2, 8,	ライブドア、ニッポン放送株35%取得
7,13,	会社入門時、指紋押捺問題	8, 8,	郵政民営化法案参院で否決 小泉首相、衆院を解散
12,11,	繊維産労第3回定期大会	9,11,	第44回総選挙、自民圧勝(郵政選挙)
2006, 3, 3,	高齢者雇用安定法で団交(3回実施)	2006, 1,18,	ライブドアの堀江貴文逮捕
5, 1,	第77回メーデー OBをふくめ15名	4,26,	耐震強度偽装事件起きる
2007, 9月	山梨工場に化成品、網加工移動	9,26,	安部晋三内閣発足

節絹労組行事年表	国内、政治、経済年表
2009, 5, 1, 組合旗を押し立て最後のメーデー	2007, 5, 14, 憲法改正手続き、国民投票法成立
2009, 8月 豊田の製造部門全て山梨工場へ	7, 29, 第21回参院選、与党惨敗
2009, 8月 最後の2名組員定年になる	2007, 9, 26, 福田康夫内閣発足
	2008, 9, 22, 麻生太郎内閣発足
	12, 30, 年越し派遣村
2009, 10, 3, 組合活動・出版、ご苦勞さん会	2009, 7, 12, 東京都議会選挙
	7, 21, 衆議院解散、8月30日投票



会社前で

あとがき

「発刊にあたって」にも書いてあるように、「金の卵」ともはやされて集団就職で働き出したところは、10 畳間に6人～7人、小さめに作った布団も重なり合うという寮生活と、早番・遅番という勤務形態で、いつもおなかをすかせていた若者たちの集団でした。それでも笑い声は絶えず、家への仕送りもしながら習い事やスポーツに精を出していた集団でもあったわけです。

その繊維工場女子労働者（会社では「女工さん」と呼んでいた）が団結して労働組合を作り、あらゆる攻撃に負けないで、世の中の動きをまっすぐに見つめ、何がダメで、どうすることが大事かを見極め、みんなで話し合い、みんなで行動してきた47年間の闘いの記録が出来上がりました。「労働組合を継続できなかったのは残念だね」という声もありましたが、繊維工場という職場・現業女子が中心の組合にあって、働く意志のあった全員が60歳の定年退職まで働き続けられたことで満足ですし、精一杯だったといえます。この本の発刊が持ち出されたのは、08年3月15日です。7人の編集担当者を決め、7月4日の全員集会で意義や経費の報告を確認し、本格的なスタートとなりました。

編集会議は、すべて組合事務所で行いましたから47年間の資料はすべて揃っていたし、組合結成20周年、30周年、40周年と10年毎の記録も残していたので、その記録をもとにまとめ、闘いの流れが読み物としても耐えられるよう加筆していきました。すべて7人の全員出席で開いてきました。現役の2人はもちろん、OBの5人も地域活動やいろいろあり、日程を入れるのが大変でしたが、約一年がかりで23回に亘りました。あらためて、よくぞここまで頑張れたものだと「労働組合」という組織に感謝する思いを強くしたところです。現在不当な派遣切りやリストラで闘いに立ち上がっている皆さんにも個人では難しいことでも労働組合に結集することで解決の糸口を見つけて欲しいと思います。その一助になればという思いもこめて「あとがき」といたします。